宇治市第6次総合計画第1期中期計画(案)

【まちづくりの方向】 地域経済が活発なまち 伝統と歴史が輝くまち

2021 (令和3) 年12月4日

目 次

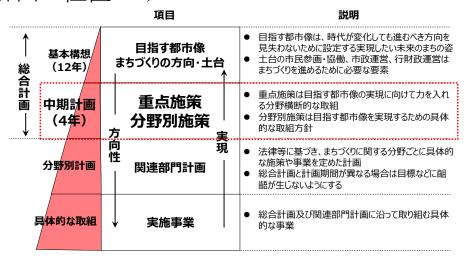
中	期計	画の	の概要	1
各	分野(の E	目標と目標達成 に向けた取組	3
	まち	づく	くりの方向 4】 地域経済が活発なまち	7
	分野	21	戦略的な産業振興	8
	分野	22	2 持続可能な農林水産業の振興	10
	分野	23	3 潤いあふれる緑化の推進と公園の整備	12
	分野	24	 誰もが移動しやすい交通環境の充実	14
	分野	25	5 良好な市街地の形成	16
	分野	26	3 地域特性を活かした道路の整備	18
	まち	づく	くりの方向 5】 伝統と歴史が輝くまち	21
	分野	27	' 伝統ある宇治茶の継承・発展	22
	分野	28		24
	分野	29) 歴史と景観が一体となったまちづくりの推進	26
	分野	30) 適切な文化財の保存・活用	28
	分野	31	魅力ある地域資源を活かした観光振興	30

中期計画の概要

中期計画

中期計画は、2022 年度から 2025 年度までの 4 年間を計画期間とし、31 の分野で構成しています。基本構想で掲げている目指す都市像「一人ひとりが輝き 伝統と新たな息吹を紡ぐまち・宇治」を実現するため、基本構想で定める 5 つのまちづくりの方向をもとに 31 の分野の取組を進めます。

中期計画の位置づけ



分野の内容

31 の分野について、市民の皆さまにわかりやすく伝えるため、以下の内容を明示しています。

項目	内容
八田の日毎(キピ)とい次)	4 年後に達成したい各分野の目標(達成したい
分野の目標(達成したい姿)	姿)を記載
成果指標	4年後に達成したい分野の目標(達成したい姿)
	の達成状況を確認するための数値目標を設定
本日 (「	各分野を取り巻く環境やこれまでの市の取組、優
現状と課題	先的に解決すべき主な課題を記載
目標達成に向けた主な取組	今後4年間で優先的に実施する主な取組を記載
関連する部門計画	各分野の方向性をより具体的に示している部門
	計画を記載
担当部署	各分野の担当部署を記載

※ 各分野のページの見方は、後述の「各分野の目標と目標達成に向けた取組の見 方」をご参照ください。

各分野の目標と目標達成 に向けた取組

各分野の目標と目標達成に向けた取組の見方

各分野の目標と目標達成に向けた取組は、「1.分野の目標(達成したい目標)」「2.成果指標」「3.現状と課題」「4.目標達成に向けた主な取組」「5.関連する部門計画」の5つの項目で構成しています。

分野 2

分野の名称 を表しています

犯罪が起こりたくい地域つくりの推進

1. 分野の目標(達成したい姿)

4 年後に達成したい各分野の目標を設定しています

市民一人ひとりが「地域の安全は地域で安」。 動を引き続き推進するとともに、犯罪被害者等に対する支援や再犯防止に取り組み、「地域防犯力の維持・継続」と「誰一人取り残さない社会の実現」を目指します。 また、消費者を取り巻く環境が複雑化するなか、自ら考え行動する主体的な消費者 の育成を通じて消費生活の充実に取り組みます。

2. 成果指標

No	指標名	現状値(R2)	目標値(R7)
1	安全管理団体登録者数	1,190 人	1,200 人
2	「社会を明るくする運動」への参加者数	8,258 人	8,500 人
3	「ホンデリング」の回収箱の設置箇所数	1 箇所	15 箇所
Total Control	before at the transfer of the		

4 消費生活相談件数 5 出前講座実施回数

4 年後に達成したい各分野の目標の達成状況を 確認するための数値目標を設定しています

3. 現状と課題

近年の刑法犯認知件数の減少は警察力の充実とともに、安全管理団体に代表される防犯ボランティアの積極的な活動等による防犯活動の活性化や防犯カメラの設置など、社会が一体となって防犯対策に取り組んでいることが相乗効果を発揮しているものと考えられます。しかしながら、高齢化等による地域防犯活動メンバーの減少や固定化等の課題を抱えており、様々な世代の防犯活動への参加や多様な層の

横断的かつ縦断的な連携により、かられています。また、インターネットを

各分野の現状と課題を整理しています

会情勢の変化にあわせた防犯体制つてりて地域における見ずりの強化など、中氏 一人ひとりの防犯意識を高めるとともに、地域防犯力を高めていく必要があります。

4 年後の達成したい各分野の目標を 下級組名 防犯意識の醸成と地域防犯力 実施する主な取組を記載しています

安全管理団体や防犯ボランライア

1

学など様々な主体による自主防犯活動の促進や防犯環境の整備により、これまで積み重ねてきた地域防犯力を維持・継続するための取り組みを推進します。

再犯防止及び被害者支援のための地域づくり

犯罪等をした人が罪を繰り返すことなく、再び社会の一員として立ち直ることができるよう、市民の理解を醸成し、地域づくりに取り組みます。また、犯罪被害者等が置かれた 状況が十分理解され、犯罪被害者等が孤立することなく、権利利益が保護されるよう 理解の促進を図ります。

消費生活相談体制の充実

相談内容の広範化・複雑化・高度化に対応するため、相談員のスキルアップに努める とともに、各種専門家及び関係機関と連携した相談等の体制を充実させ、消費者被害 の防止に努めます。

情報発信と啓発活動の推進

4 消費者問題に関する自主的学習を仮 報提供や啓発活動を行います。

各分野の方向性をより具体的に 示している部門計画を記載しています

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
1	宇治市第4次防犯推進計画	2021 年度~2025 年度	総務部総務課

担当部署

総務部総務課、産業地域振興部自治振興課

各分野の担当部署 を記載しています 【まちづくりの方向4】 地域経済が活発なまち

戦略的な産業振興

1. 分野の目標(達成したい姿)

産業振興により市外からの需要や人の流れを呼び込み、市内経済が循環し、潤い、活性化し続けるまちを目指します。

2. 成果指標

No	指標名	現状値(R2)	目標値(R7)
1	事業者支援数(訪問等による支援数)	86 社	150 社
2	うじらぼ利用者数	延べ450人 (2020.11.19~ 2021.3.31)	延べ 1,800 人
3	製造業の情報発信数	76 回	80 回

3. 現状と課題

グローバル化に加え、POSTコロナに向けて、世界的な競争が激化し、産業をめぐる状況が急速なスピードで変化するなか、市内産業のさらなる成長・発展、多様な働く場の創出に向けて、それぞれの事業者が置かれている状況を踏まえたサポートを実施するとともに、地域からのイノベーション創出を目指し、事業者間や産学等との交流・連携を促進していく必要があります。

取組名及び取組内容

1.産業支援体制の充実

市内事業者の様々な経営課題やニーズに対応するため、市と商工会議所の緊密な連携のもと、産業支援拠点宇治NEXTによる伴走支援に取り組みます。

2.市内産業の成長支援

各種セミナーの開催や展示会出展支援、低利融資制度などによる事業者の経営の安定と 成長・発展を図るとともに、社会経済構造の変化に応じた経営への転換を促進するなど、市 内産業の更なる成長支援に取り組みます。

3.事業者間や産学等の交流・連携の強化

地域店舗や商店街の活性化に加えて、<u>異業種交流や産学交流などにより、事業者間や産</u>学等のつながり・交流を更に加速させ、新商品や新技術の開発、取引拡大につながる様々なイノベーションの創出を促進します。

4.新たな産業の創出

産業交流拠点うじらぼを活用した創業支援や、未来を担う小学生から大学生までの起業・ 体験教育の実施など、新たな産業の創出とチャレンジする事業者への支援を加速させます。

5.産業基盤の整備

市内への産業立地を推進するため、<u>国道 24 号沿道地区への産業立地の実現に向けて引き続き取り組むとともに、更なる市内経済の活性化に向け、市外からの企業誘致を含め、企業の立地ニーズ等の調査や新たな工業用地の可能性の検討を行います。</u>

6.人材確保と勤労者支援

合同企業説明会等の開催や<u>企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進など</u>、様々な機関と連携し、<u>市内事業者の人材確保と若い世代の就労機会を創出</u>するなど、定住人口の確保につながる取組を進めます。

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
1	宇治市産業戦略	2022 年度~2025 年度	産業地域振興部 産業振興課

担当部署 産業地域振興部産業振興課

持続可能な農林水産業の振興

1. 分野の目標(達成したい姿)

農業の振興、森林環境の保全、水産資源の保護を推進し、安定かつ持続可能な農林水産業が実現したまちを目指します。

2. 成果指標

No	指標名	現状値(R2)	目標値(R7)
1	認定新規就農者累計数	13 経営体	20 経営体
2	農地中間管理事業による農地集積(貸借面積)	15ha	22ha
3	奨励作物の作付支援面積	890a	1240a
4	新たな施設設置支援件数	_	3 件
5	市内産農産物等のPRイベント出店数	16 件	20 件
6	保全する森林面積	3,302ha	3,302ha

3. 現状と課題

農地や森林の保全、高齢化や担い手不足などの課題に対し、農業者への支援や 地域特性を活かした農業振興、森林環境の整備など、農地や森林が持つ多面的な 機能を持続的に発揮させる必要があります。

4. 目標達成に向けた主な取組

取組名及び取組内容

1.生産活動の根幹となる農業者への支援

農業者の経営改善、経営継承・発展などにつなげるため、<u>関係機関との連携強化によって、幅広くサポートできる体制を構築</u>するとともに、新規就農者への支援、法人化や雇用拡大、農業被害の防止などに取り組みます。

取組名及び取組内容

2. 農用地等の適正管理と利用の最適化

農用地等の適正管理について指導・啓発を行うとともに、関係機関・団体等との連携等により、担い手への農地集積をはじめ、利用の最適化を図ります。

3.農業用施設の保全

関係団体と連携して、ため池・用排水路の維持管理など施設の保全に取り組みます。

4.持続可能な農業経営・新たなチャレンジへの支援

大消費地と近い立地を活かした農業経営の取組を支援するとともに、ICT 技術の導入や高 収益作物への転換などへの支援、関係機関との連携による営農・技術研修、新たな販路拡 大、規模拡大への取組など、農業者の新たなチャレンジを支援します。

5.農業を支える施策等の情報発信

農業者を支える施策等の情報を関係機関との連携・協力により、わかりやすく提供するとともに、SNS等を活用した農作物の情報等の周知・広報に取り組みます。

6.森林の機能保全の推進

森林組合との協働により、環境林の機能保全を進めるとともに、ナラ枯れ等への対応や森林管理の取組を推進することにより、災害に強い森づくりを目指します。

7.林道長寿命化の推進

林道の適切な維持管理に努めます。

8.水産資源の保護

河川種苗放流事業等の水産資源保護への支援を行います。

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
1	宇治農業振興地域整備計画	1994 年度~	産業地域振興部
1			農林茶業課
0	宇治市鳥獣被害防止計画	2020 年度~2022 年度	産業地域振興部
2			農林茶業課
2	宇治市森林整備計画	2013 年度~2022 年度	産業地域振興部
3			農林茶業課

担当部署

産業地域振興部農林茶業課、農業委員会事務局

潤いあふれる緑化の推進と公園の整備

1. 分野の目標(達成したい姿)

市民が「みどり」と潤いのある環境を実感でき、潤いと安らぎのある生活空間があるまちを目指します。

2. 成果指標

No	指標名	現状値(R2)	目標値(R7)
1	タルギランティアの江 ご江動 し粉	1,080 人	7
1	緑化ボランティアの延べ活動人数	(R1)	
0	技物 公国3-担 类数	100,129 人	130,000 人
2	植物公園入場者数	(R1)	(R 8)
9	であい国の利田本粉	414,511 人	490,000 人
3	運動公園の利用者数	(R 1)	(R 8)

3. 現状と課題

市民が潤いと安らぎのある空間・環境を実感できる良好な市街地環境の形成が必要です。また、市内の公園は、遊び場や憩いの場、防災拠点としての役割・機能もあることから、ライフスタイルや市民ニーズに対応した整備に努めるなど、市民と行政が一体となって快適で安心できる環境の創出に取り組む必要があります。

取組名及び取組内容

1.みどりの保全と緑化の推進

良好な市街地の環境を形成するため、「みどり」の保全に努め、公共施設や民有地の緑化を推進します。

2.植物公園を中心とした緑化の普及・促進

植物公園を中心とした緑化の普及・啓発と緑化ボランティア等市民の主体的な緑化活動への支援に取り組みます。

3.公園・緑地の整備と管理

地域の実情に応じた公園・緑地の整備を行い、コミュニティの場として幅広い年代の活用を促進するとともに、遊具等の定期的な点検を行い、計画的かつ効果的な管理に取り組みます。

4.運動公園(黄檗公園・西宇治公園等)の活用等の推進

市民の利用ニーズに沿った活用を進めるとともに、計画的な施設の改修に努めます。また、黄檗公園については、防災拠点としての再整備を継続して進めます。

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
-	宇治市都市計画マスタープラン	2022 年度~2042 年度	都市整備部
			都市計画課

担当部署都市整備部公園緑地課	
----------------	--

誰もが移動しやすい交通環境の充実

1. 分野の目標(達成したい姿)

市民の日常生活に必要な移動手段の維持、確保に努めることや、交通事故のない 社会を作っていくことで、子どもから高齢者まで安心して過ごすことができるまちを目 指します。

2. 成果指標

No	指標名	現状値(R2)	目標値(R7)
1	市内鉄道駅乗客数	2,798 万人/年 (R1)	7
2	バリアフリー新法に基づくバリアフリー化済 鉄道駅数	12 駅	14 駅
3	交通事故発生件数	283 件	減少

3. 現状と課題

宇治市は公共交通に恵まれた都市であるものの、公共交通を維持していくための利用促進や駅・バス停等の交通結節点までの移動が困難な高齢者に対する移動手段について、検討していく必要があります。既存公共交通を持続するだけではなく、新たな移動ニーズへの対応のために、市民・事業者・行政の三者が協働して取組を進めていく必要があります。

取組名及び取組内容

1. 既存公共交通の利用促進と新たな移動ニーズへの対応

既存公共交通を維持していくため、利便性を高め、利用の促進のための意識啓発をするとともに、新たな移動ニーズに対応していくために、既存公共交通との整合性を図りながら地域に応じた移動手段の確保に取り組みます。

2.駅や道路などのバリアフリー化の推進・促進

高齢者や障害者などの移動を円滑化するため、鉄道駅や周辺道路などのバリアフリー化を進めます。

3.交通安全対策の強化

交通安全教育の実施や各種啓発活動に取り組みます。また、自動車・自転車等の駐車秩序を維持するため、駐車場の整備・運営や駐輪場の再整備などを行うとともに、自転車等の放置防止等、交通ルールの周知・啓発に取り組みます。

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
1	宇治市公共交通体系基本計画	2021年度~2033年度	都市整備部 交通政策課
2	宇治市交通バリアフリー全体構想 (改訂版)	2014 年度~	都市整備部 交通政策課

担当部署	都市整備部交通政策課

良好な市街地の形成

1. 分野の目標(達成したい姿)

社会情勢の変化等に対応できる適応的な都市計画、市民・事業者とのパートナーシップのもと、良好な市街地が形成されたまちを目指します。

2. 成果指標

No	指標名	現状値(R2)	目標値(R7)
1	地域特性に応じた土地利用の誘導 (地区計画)	10 地区	12 地区
2	市営住宅の長寿命化等の推進 (社会資本総合整備計画進捗率)	40.0%	69.0%
3	建築物に係る完了検査	94.7%	100%

3. 現状と課題

人口減少・少子高齢社会が進行する中、安全で機能性、快適性を備えた市街地の整備や土地の有効かつ合理的な利用が必要であり、立地適正化計画等の視点をもった計画的な都市施設・都市基盤の整備をはじめ、良好な居住環境の整備や景観の形成など、社会情勢や市民ニーズなどの変化に対応できるまちづくりを進めていく必要があります。

4. 目標達成に向けた主な取組

取組名及び取組内容

1.地域特性を活かしたまちづくり

多様な住まい方・働き方を支える都市づくりを目指すため、地域の特性を踏まえ、都市計画の規制・誘導方策を活用し、居住や医療、福祉、商業、公共交通などの都市のサービスの維持・発展のため、計画的な誘導を図ります。また無秩序な開発を防止するため、まちづくり・景観条例等により、適切な協議及び指導を行います。

取組名及び取組内容

2.計画的な都市基盤の整備

都市計画マスタープランに沿って、<u>将来的な都市の骨格となる幹線道路網や鉄道網</u>、都市 防災の充実など、持続発展できる魅力ある都市空間の形成を目指します。

3.良好な住環境の整備

まちづくりや福祉的な観点など幅広い視点を持って空き家への対策に取り組むとともに市営住宅の長寿命化対策等を進める中で、子育て世帯や障害者、高齢者などの多様な住宅ニーズに対応した住宅ストックの活用を図ります。また、土地の境界を明確にし、不動産流通の促進や災害復旧の迅速化に寄与するために地籍調査に取り組みます。

4.活力ある都市づくり

新名神高速道路の全線開通により、ヒト・モノの新たな流れが生まれることから、こうした機会 を活かし、将来にわたって持続発展できる強い市内産業をつくり、定住人口につながる多様な働く場の創出を目指します。

5.パートナーシップによる都市づくり

まちづくり・景観条例を活用するなど、市・市民・事業者がまちづくりのパートナーシップとして力を結集し、将来の街の姿を共有し地区まちづくり計画やその他の手法を活用し、都市づくりを進めます。

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
1	シ沙士型士制 画 → フカー プニン	2022 年度~2042 年度	都市整備部
1	宇治市都市計画マスタープラン	2022 中度 2042 中度	都市計画課
0	近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本構	0000 左座-	都市整備部
2	想	2022 年度~	都市計画課
2	京仏士片ヴィッカー プラン(みぎに)	0017 左连 0000 左连	建設部
3	宇治市住宅マスタープラン(改訂版)	2017 年度~2026 年度	住宅課
4	ウルナホャウは上海コ市	0010 左连 0000 左连	建設部
4	宇治市空き家等対策計画	2019 年度~2023 年度	住宅課
	ウトロ地区小規模住宅地区改良事業	0015 左连 0000 左连	建設部
5	計画	2015 年度~2023 年度	住宅課

担当部署

建設部建設総務課、建設部住宅課、都市整備部都市計画課、都市整備部開発指導課、都市整備部建築指導課

地域特性を活かした道路の整備

1. 分野の目標(達成したい姿)

誰もが便利で安全・安心して移動できるように、地域の活性化につながる道路の整備や適正な維持管理を行い、快適で活気のあるまちを目指します。

2. 成果指標

No	指標名	現状値(R2)	目標値(R7)
1	市道の拡幅整備の実施	_	4 箇所
2	既存施設の長寿命化対策(橋梁)	10 橋	15 橋

3. 現状と課題

新名神高速道路の開通を令和 5 年度に控え、観光や工業・商業など多岐に渡っての波及効果が期待されており、広域道路ネットワークの構築による経済活動の更なる活性化や市民の安全・安心のための防災機能の強化、幹線道路の交通渋滞対策や道路インフラ施設の長寿命化が重要となっています。

また、駅周辺では、駅前広場や周辺道路の整備が不十分なため、交通渋滞の発生や交通安全上の課題があることから、駅周辺の賑わいを創出するために駅前広場やアクセス道路などの整備を行う必要があります。

加えて、全国で子どもが事故に関わるケースが後を絶たないことから、通学路等に おける交通安全対策に取り組む必要があります。

取組名及び取組内容

1.道路ネットワークの構築

新名神高速道路の開通を踏まえ、<u>広域道路ネットワークの構築による経済活動の更なる活性化や観光振興、地域間の交流促進を進めるとともに、市民の安全・安心のための防災機能の強化、幹線道路の交通渋滞対策や</u>道路インフラ施設の長寿命化に取り組みます。

2.駅周辺の道路整備

駅周辺の賑わいを創出するため、<u>地域特性を活かした駅前広場やアクセス道路の交通渋</u>滞緩和、歩行空間確保などに取り組みます。

3.道路の改良

<u>通学路等の交通安全対策</u>をはじめ市民ニーズを反映した交差点改良、歩道などの整備に 取り組みます。

4. 道路の適正な管理

道路を効率的に維持するため、「宇治市橋梁長寿命化計画」に基づき、計画的に進めるとともに効果的な維持管理に取り組みます。

5.私道整備の促進

私道の安全性の確保や適正な維持管理のため、整備費の助成等により私道整備を促進します。

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
1	宁 公主接须目主人儿乱而	0010 左连 0000 左连	建設部
1	宇治市橋梁長寿命化計画	2019 年度~2023 年度	維持課
0	学込ま拠ま計画ラフカープラン	9099 年度 - 9049 年度	都市整備部
2	宇治市都市計画マスタープラン	2022 年度~2042 年度	都市計画課
0	近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本構	2022 年度~	都市整備部
3	想		都市計画課
4	卢从上之 区,如• 少 01	-	都市整備部
4	宇治市交通バリアフリー全体構想		交通政策課

担当部署建設部建設総務課、建設部道路建設課、建設部維持課

【まちづくりの方向5】 伝統と歴史が輝くまち

伝統ある宇治茶の継承・発展

1. 分野の目標(達成したい姿)

国内外の人々が宇治茶に魅了され、伝統的な茶製法を継承し、高品質茶の生産と環境に優しい茶づくりが実現しているまちを目指します。

2. 成果指標

No	指標名	現状値(R2)	目標値(R7)
1	高品質茶推進事業実施件数	77 件	77 件
2	茶品評会出品点数	63 点	83 点
3	茶品評会入賞率	54.0%	60.0%

3. 現状と課題

宇治茶は本市の象徴であり、これまでも様々な取組に対する支援等を行い、茶業の振興を図ってきましたが、一方で、国内の産地間競争の激化やペットボトル茶の普及により、市内産宇治茶を取り巻く状況は厳しくなっています。そのような中でも、伝統的な茶製法の継承や高品質な宇治茶の PR、国内だけでなく海外輸出を視野に入れた取組などにより、より一層宇治茶のブランド力を強化し、茶業の振興を図る必要があります。

取組名及び取組内容

1. 宇治茶のブランド力の強化

「宇治茶の文化的景観」の世界遺産登録を目指すとともに、<u>伝統的な茶製法を継承</u>し、各種品評会への出品や入賞を奨励する取組などを通じて、<u>市内産宇治茶の区別化、ブランド</u>化を図ります。

2.優良高品質茶の生産支援

生産力の低い在来種茶園から優良品種茶園への改植を推進するとともに、<u>長い歴史の中</u>で培われてきた高品質茶の生産と環境に優しい茶づくりを支援します。

3.宇治茶の茶園保全と担い手の育成

宇治茶の伝統を守り伝えるため、茶園面積の減少抑制と<u>優良茶園の保全</u>に努めるとともに、<u>担い手の育成</u>を支援します。

4.魅力ある宇治茶の情報発信と販路拡大

宇治茶の消費拡大や販路拡大に向けて、宇治茶まつり・茶香服大会等の各種イベントの開催や、宇治茶の魅力を伝えるPR活動などを積極的な情報発信に努めるとともに、関係機関と連携し、海外輸出を視野に入れた取組を支援します。

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
1			

担当部署	産業地域振興部農林茶業課
------	--------------

文化芸術が香るまちづくりの推進

1. 分野の目標(達成したい姿)

文化の香る「ふるさと宇治」の継承、発展のため、市民の自主的・創造的な文化芸術であふれるまちを目指します。また、文化芸術を軸にした様々な分野での協働や交流が活発になることで、人びとがつながり、地域の絆・まちづくりへとつながることを目指します。

2. 成果指標

No	指標名	現状値(R2)	目標値(R7)
1	暮らしを豊かにするうえで文化芸術を必要と 思う市民の割合	79.0%	85.0%
2	文化センター利用者数	137,194 人 (H30)	140,000 人
3	源氏物語ミュージアム講座等開催数	30 回	35 回

3. 現状と課題

文化芸術は日々の生活に潤いを与え、暮らしを豊かにしてくれるものです。文化芸術に親しむ市民を増やすため、文化芸術に気軽に鑑賞・参加・創造する機会の充実が必要です。また、市民・文化芸術団体・事業者との様々な交流により、長年市民が育ててきた貴重な文化資源を活かし、継承するとともに、観光、産業、福祉、教育など様々な結びつきにより、文化芸術活動を促進していく必要があります。加えて、恵まれた歴史と文化を活かしたまちづくりを進めるため、貴重な文化財や伝統行事を、市民と行政がその重要性を理解し、協働で保護・継承していく必要があります。

取組名及び取組内容

1.市民の文化芸術活動への支援

市民の自主的、創造的な文化芸術活動の振興を図るため、各種事業の展開や<u>文化芸術団体との連携など</u>を促進します。また、だれもが文化芸術を鑑賞・活動できる機会の提供や、活動を行う環境の整備、情報提供に取り組みます。

2.次世代への文化芸術の継承

子どもの頃から文化芸術にふれることで、文化芸術に親しむ市民を増やし、次世代へ継承 していくよう、担い手・支え手の育成を推進します。

3.文化芸術施策と関連分野の施策との連携

文化芸術を通じて、観光、まちづくり、国際交流、福祉、産業、教育その他の<u>分野との連携</u>を図ります。

4.文化資源を活用した地域の活性化

源氏物語や宇治茶、歴史遺産などをはじめとする<u>文化資源を活かした</u>地域の活性化や魅力発信を進めます。

5.宇治の歴史・文化の継承・普及

歴史資料館や源氏物語ミュージアムにおける、調査・研究成果を反映した展示・講座を実施するとともに、効果的な情報発信にも取り組みます。学校や図書館などの施設や各種団体等の連携を深め、歴史・文化の継承・普及に取り組みます。

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
1	党队士李儿,北依据 图甘土江东	2022 年度~2033 年度	産業地域振興部
1	宇治市文化芸術振興基本計画		文化スポーツ課
0	空 0	2022 年度~2033 年度	教育部
2	第2次宇治市教育振興基本計画		教育総務課
2	今沙士知火长脚到 面	2013 年度~2022 年度	産業地域振興部
3	宇治市観光振興計画		観光振興課

担当部署産業地域振興部文化スポーツ課、教育部博物館管理課

歴史と景観が一体となったまちづくりの推進

1. 分野の目標(達成したい姿)

地域の歴史・文化・伝統により形成された宇治の文化的景観を保存・活用し、歴史 的な資産と一体となったまちを目指すとともに、地域の特性に応じた良好な景観の 保全・形成を進めます。

2. 成果指標

No	指標名	現状値(R2)	目標値(R7)
1	景観重要建造物の指定件数	2 件	4 件

3. 現状と課題

伝統的な家屋や、重要な建築物などの保存や活用をするため、改修時に価値を損なわないよう、各種制度の利活用や法令による規制により、地域の歴史・文化・伝統と調和した良好な景観の保全・形成を進める必要があります。

取組名及び取組内容

1.重要文化的景観の保存・活用

重要文化的景観に選定された宇治の文化的景観を守り、情報発信するとともに、保存に必要な修景整備等を進めます。

2.歴史・文化・伝統と調和した取組の推進

「宇治市歴史的風致維持向上計画」に沿って、歴史・文化・伝統と調和したまちづくりを推進します。

3.都市景観の保全

「宇治市景観計画」に基づき、市民・事業者・行政の協働による都市景観形成を促進するため、必要な様々な支援を行うとともに、啓発活動を推進します。

4.景観形成活動への支援

良好な都市景観を保全するため、周辺景観と調和した建築物等への規制・誘導を行うとともに、景観重要建造物の指定の推進や良好な景観形成活動への支援を行います。

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
			都市整備部
1 2	宇治市歴史的風致維持向上計画	2022 年度~2032 年度 歴史まちづくり打 進課	歴史まちづくり推
			進課
		都市整備部 - 歴史まちづくり推 進課	都市整備部
2	文化的景観保存活用計画		
			進課
3	宇治市都市計画マスタープラン	2022 年度~2042 年度	都市整備部
3	十石川都川計画マグダーノブン		都市計画課
4			都市整備部
	宇治市景観計画	2008 年度~	歴史まちづくり推
			進課

担当部署

都市整備部歴史まちづくり推進課

適切な文化財の保存・活用

1. 分野の目標(達成したい姿)

恵まれた歴史・文化や文化財などの重要性への理解を深め、貴重な文化財や伝統文化を保存・活用し、次の世代へと継承していくまちを目指します。

2. 成果指標

No	指標名	現状値(R2)	目標値(R7)
1	市指定文化財の指定件数	56 件	58 件
2	有形文化財保存率	100%	100%

3. 現状と課題

文化財は広く市民共有の財産であり、地域における文化財の総合的な保存・活用を図る必要があるため、文化財の市指定を進めるための文化財調査など保護する体制づくりと文化財に対する意識の高揚を図る必要があります。

取組名及び取組内容

1.文化財の保存・活用

文化財の適切な管理と修理を行い、観光等への活用を推進します。また、埋蔵文化財等を保存するため、開発等の際に貴重な遺跡に関する調査研究を進め、市民・事業者への情報発信を強化します。

2. 伝統文化の継承と支援

伝統文化に関する調査研究を進めるとともに、市民への情報発信や啓発活動に取り組みます。

3.文化財防災の推進

文化財を守るため、防災施設の整備を促進するとともに、宇治市文化財まもり隊等地域と連携した防災組織の充実に取り組みます。

4.未指定文化財の指定に向けた取組の推進

地域における文化財の総合的な保存・活用を図るため、市内に所在する未指定文化財の調査を行うなど、文化財指定につなげるための取組を進めます。

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
		都市整備部 2022 年度~2032 年度 歴史まちづくり推	都市整備部
1	宇治市歴史的風致維持向上計画		
			進課
		都市整備部 - 歴史まちづくり推 進課	都市整備部
2	文化的景観保存活用計画		歴史まちづくり推
			進課
3	宇治市都市計画マスタープラン	2022 年度~2042 年度	都市整備部
3	十石川和川司 回マクケーノフン	2022 中皮~2042 中皮	都市計画課
4	第2次宇治市教育振興基本計画	2022 年度~2033 年度	教育部
			教育総務課

担当部署

都市整備部歴史まちづくり推進課

魅力ある地域資源を活かした観光振興

1. 分野の目標(達成したい姿)

市民や観光事業者が観光客を温かく迎え入れる意識が根付き、豊富な観光資源を活用するとともに、宇治のブランド力を高め、一度訪れた観光客がまた訪れたいと思うまちを目指します。

2. 成果指標

No	指標名	現状値(R2)	目標値(R7)
1	観光客の満足度(飲食・お土産・標識・交通など)	55.0~93.0% (H28)	全項目が 85.0% 以上
2	再来訪意向の割合	56.0% (H28)	70.0%
3	観光消費額	4,046 円 (H28)	7

3. 現状と課題

歴史や文化などの恵まれた資源を活かし観光振興を図ってきましたが、近年の新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客の入込客数は大幅に減少しています。そのような中でも、観光都市・宇治のブランド力を高めていくため、これまでの資源を活かした観光振興を行うとともに、オンラインを活用した魅力発信や新たな観光資源の創出など、これまで以上に、市民や関係団体等との協働による観光振興に努める必要があります。

取組名及び取組内容

1.豊富な観光資源の活用と観光コンテンツの開発の推進

世界遺産や豊富な歴史遺産の保全・活用、伝統的な鵜飼いの伝承、源氏物語のまちづくりの推進に取り組みます。また、「お茶と宇治のまち歴史公園」を「お茶の京都エリア」の玄関口とし、天ヶ瀬ダムを含む宇治川周辺の周遊性を高めるため、豊かな地域資源を活用し、宇治川右岸に点在する歴史や文化などにも目を向け、宇治川を基軸としながら川の魅力を発信するなど、それぞれのブランドカやストーリー性を活かした仕掛けづくりに取り組みます。

2.効果的な情報戦略と広域的な連携によるプロモーション

WITH コロナ・POST コロナにおける観光産業を支えるため、引き続き観光大使を活用した情報発信や、これまでの情報発信に加えて、プッシュ型の情報発信に取り組むとともに、インターネットを活用した旅行意欲調査等を行い、効果的な情報戦略を検討し、観光客の獲得に努めます。また、京都市をはじめ、他市町村や他市観光協会、お茶の京都 DMO などと連携し、相互の地域の魅力を活かした観光プロモーションを実施します。

3.観光客の受入環境の整備

市の情報発信や宇治学、年間行事を通して、市民が宇治市の魅力を体感し理解を深め、愛着を持つことにより、市全体で観光客を温かく迎え入れる意識を醸成します。また、<u>観光</u>客が必要な情報に簡単にアクセスできるようデジタル技術を活用し、WITH コロナ・POST コロナに対応した観光案内機能を強化します。さらに、安全で安心な観光地づくりのため、災害時の観光客の避難誘導方法の確立等に取り組みます。

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
1	宇治市観光振興計画 2013 年度~2022 年度	2012 年度 - 2022 年度	産業地域振興部
1		2013年度~2022年度	観光振興課
0	11 小安山山 ハ	産業地域振興部	
2	観光案内サイン整備ガイドライン	— 有	観光振興課

担当部署 産業地域振興部観光振興課